

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000085	事業の開始年月日	平成20年12月1日	
		指定年月日	平成20年12月1日	
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語 やまと			
所在地	(〒242-0001) 神奈川県大和市下鶴間 2 9 7 3 - 2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
自己評価作成日	平成25年9月23日	評価結果 市町村受理日	平成25年12月2日	
定員等	ユニット数		2ユニット	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供たちの登下校を見守ったり、地域の行事に参加したり、ホーム行事に参加して頂いたり、住み慣れた地域で利用者様は地域の皆さんに見守られて生活を送られています。 ・庭ではボランティアさんが家庭菜園を毎年行い、皆さんと収穫を喜び、玄関横の電灯につばめが巣を作った時は、雛鳥を地域の方と一緒に見守り、巣立ちの時は、利用者様と地域の方が一緒に喜びを分かち合うことが出来ました。 ・今後も地域の方を見守り、見守って頂けるよう、地域の方との交流を大切にしていきたいです。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年10月17日	評価機関 評価決定日	平成25年12月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所概要】 この事業所は、小田急江ノ島線南林間駅から徒歩10分あまりの、所々に畑が残るのどかな住宅地の中にある。近隣には複数の大型のショッピングセンターがあり、買物や散歩に利用している。木造2階建ての建物内には、小規模多機能型居宅介護事業所が併設されており、行事や避難訓練などを合同で行っている。交流を通して職員が利用者と顔なじみの関係を築き、サービスの移行も円滑にできている。</p> <p>【地域に根ざした事業所】 地域のあらゆる世代の人々と交流し、地域の一員としての役割を担い、地域に根ざした事業所となっている。近隣の幼稚園・保育園とは、利用者が運動会に出向き、園児が敬老会やクリスマス会などで訪れたり相互に行き来している。利用者もこの時間を楽しみにしており、高齢者との関わりの少ない子供たちにとっては貴重な体験となっている。毎日子供たちの通学を見守り、「子供110番の家」活動に協力している。中学生の体験学習、専門学校の実習を受け入れ、若い世代の来訪を歓迎し、人材育成に貢献している。</p> <p>「秋桜祭り」や「健康祭り」を主催し、ゲームをしたり焼きそばを振る舞ったりしながら、地域の方に足を運んでもらう機会を作っている。利用者の暮らしぶりを知ってもらうことで、認知症への理解を深めている。専門性を活かし介護や健康相談も受け付けている。手工芸やフラダンスなどの様々なボランティアの来訪は、利用者の生活に彩りを添え、地域の社会資源活動の活性化にも繋がっている。これらは、事業所が地域密着型サービス事業所として地道に取り組んできた成果である。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 やまと
ユニット名	1Fフロア

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	花物語 やまと
ユニット名	2Fフロア

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念を踏まえ、住み慣れた地域で安心し、安全に生活を送り、出来るだけ自立した生活が送れますよう、職員間で理念を共有し支援を行って行きます。各職員に配布し各フロア、スタッフルームに貼り共有をしています。</p>	<p>事業所理念は、「人生の大先輩」「ホッと家」「目配り、気配り、心配り」の3項目である。入職時に法人理念、行動指針と併せて説明し、掲示や毎朝の申し送り時に唱和し共有している。職員は、利用者を生活の知恵や一般常識を教えてくれる人生の大先輩として敬意を払い、安全、安楽な生活が送れるよう支援している。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>山王原上自治会に加入し、地域の行事にも参加させて頂き、子供110番になっており登下校の見守りを継続して行っています。ホーム近くの保育園児との交流も定期的にもち、利用者様には喜んでいただいています。</p>	<p>利用者とともに地域の盆踊りやお花見などの行事、防災訓練、定期清掃に参加している。「秋桜祭り」や「健康祭り」を主催し、事業所に足を運んでもらう機会を作っている。専門性を活かし介護や健康の相談も受け付けている。近隣の幼稚園、保育園の子どもたちとの交流、中学生の体験学習や専門学校の実習生の受け入れ、手工芸やフラダンスなど様々なボランティアの来訪があり、地域に根ざした事業所となっている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>定期的に健康祭りを開催し地域の方の健康相談や介護相談を行っています。その際ホームを開放し施設内を見学して頂き、理解して頂けるよう努めています。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年6回、開催し、事業所からの報告だけでなく、参加者からの意見や要望などを頂いて、運営に活かしています。災害時の助言や、季節による注意事項を頂き注意を行っています。</p>	<p>運営推進会議は、隔月で年に6回開催している。利用者の近況や日常の活動報告をし、意見交換している。会議には、消防署に勤務していた方や3名もの民生委員が出席しており、防災に関して的確な助言や豊富な地域情報を得られている。災害時には、事業所を避難場所として開放し、食事の提供が可能なことを知らせている。自己評価と目標達成計画について説明をし、受審結果の報告をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の担当者とは連携を図り運営推進会議を開催し利用者様の生活状況や活動状況、事故報告、相談等を行い、又市からの情報の提供等、随時連絡を取り合い協力関係ができています。	毎月、運営推進会議の議事録を持って市の介護保険課を訪問し、担当者と連携を深めている。市からは、各事業所の空き状況や研修会の案内がメールで届き、救命救急や食中毒などの研修に参加している。気温が35度以上になると注意喚起の電話がある。市のグループホーム連絡会に加入し、情報交換をしている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については常に話し合いの場を設け、身体拘束はもとより、行動制限など行なわないよう、工夫したケアが行なえるよう話し合い、また研修を行い自己のケアを振り返り話し合いの場を設けています。	やむを得ない場合を除き身体拘束その他、利用者の行動を制限しないことを契約書に明記し、実践している。高齢者虐待防止や言葉による行動制限も含めての研修を行い、自己点検シートで確認している。身体拘束をせずに安全を確保するケアの工夫や言葉かけが適切であったかの話し合いも頻繁に行われている。外に行きたい利用者には、寄り添って話を聞いたり、ドライブに誘うなどで対応している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待、拘束の研修を行い、声かけやケアを行なう上で、言葉の虐待になっていないか、自己点検シート等を活用し話し合いを行い、常に問題や疑問を解決するよう努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今年度は、成年後見人制度の研修を行いました。実際、後見人制度を利用している方がいる為、興味をもち研修を行うことが出来ました。今後も定期的に研修を行い、理解を深めてまいります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、重要事項の説明には十分時間をかけ書面と口頭にて説明を行い質問や疑問について納得されるまでご本人様やご家族様と話し合いを行なっています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の出席の際や面会にいらした際に個別の面談を行いご意見や要望を伺い、出来るだけ要望にお答え出来るよう務めています。また、ご家族様へアンケートを年に1度行い、ご意見を運営に活かせるよう努めています。	家族の面会時には、利用者の様子を伝え、意見や要望を聞いている。個々のケアについての要望は、申し送りに対応したり、ミーティングで話し合ったりしている。事業所独自で、サービス、職員、その他の項目についてのアンケートをとり、家族が自由に意見や要望を出せる機会を作っている。家族宛てに毎月送付する「花だより」には、利用者の近況の他に、つばめの巣作りや利用者が労いの言葉をかけてくれたエピソードなど、ほのぼのとした内容が記されていた。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフルームに気付きボックスを設置し、気付いたことや改善点を自由に記入し意見を聞く機会を設けています。また、月に1回の会議にて改善点を議論し改善に努めています。	職員の意見は、毎月のユニット会議や、申し送り時などに聞いている。利用者のケアやごみコンテナの清掃、夜勤・日勤の業務分担の見直しなどの提案は、職員間で話し合い、日常業務に反映している。熱中症予防として各居室に温度計を設置する提案は即座に実行されている。毎年の個人面談でもそれぞれの意見を聞く機会を設けている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤・非常勤を問わず、資格手当を設け資格の取得のバックアップを行っています。各自の就労スタイルに合わせ働けるよう心がけています。各自が目標を持って向上できるよう努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に法人内研修や施設内研修を行い、知識、技術の向上に努めています。また、資格取得支援制度を設けています。入社時研修やホロアップ研修を行い職員の育成を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	各介護事業者連絡会の研修参加や職員向けの勉強会を持ち回りでを行い、また他の事業所の職員の交換研修を行い、質の向上に努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様のお話や生活をしていく中から困っている事や心配事、要望をくみ取り、サービスの提供に努め、環境の変化で不安な時はゆっくりとお話を伺い安心して頂けるよう心掛けています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安、要望、困っている事に関しては、ご家族様が納得されるまで話し合いを行い、協力し合える関係作りを行なっています。又他事業者や併設施設からの情報にてアセスメントを作成しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始にあたり必要に応じ行政、医療への手続きや連絡を行い、ご家族様、ご本人様の要望や必要に応じ他事業者とも連携を図り支援を行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理や家事を一緒に行い、時には助けて頂いたり、人生の先輩としていろいろな事を教えて頂きます。お互いを気づかえる関係が築けていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご本人様のご様子や、日々の暮らしぶりなどの情報をご家族様と共有し、また通院などご家族と協力しながら行う事でご本人様の状態を理解し、精神的な支えになって頂いています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご友人の面会や電話連絡を取り合ったり、ご友人との面会や外出がゆっくり行えるよう配慮し訪問しやすい雰囲気作りに心がけています。</p>	<p>友人の来訪時には、利用者の最近の様子を話し、会話がスムーズに進むよう配慮している。電話連絡の取り持ちや手紙、年賀状の代筆をしている。コーヒーが好きな利用者をお茶に誘い、近隣の喫茶店へ出かけている。家族との旅行や外食に出かける時には、ケアの注意事項を伝え、安全で楽しい外出ができるよう支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションや作業を皆様と一緒にできるような工夫し、教え合い協力して行なっています。出来ない事は助け合い、助けてもらったからお礼を言うといった関係作りが出来ています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後もご本人様、ご家族様との関係を継続しいつでも相談が行えるようお伝えしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様やご家族様から直接お話を伺い、表現できない方については、日頃の会話や行動からくみ取るような心がけ、フロアミーティングの場などで把握・検討を行っています。	日頃から利用者の行動や表情には目配りをしている。現段階では率直に希望や意向を話してくれる利用者が多く、意志の疎通がはかられている。言葉では十分に意思表示ができない場合は、簡単な問いかけをしたり、複数の選択肢を提示して利用者自身が決定できるように支援している。気づきや利用者の情報はユニット会議で共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活状況やご家族様との関係、またサービス利用状況、入院時の情報はサービス提供事業者やご本人様、ご家族様にお話を伺い把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活ペースに合わせ起床、就寝、食事の時間などその日の心身の状態やご本人様の希望に沿い、又出来る事は自分で行い、出来ない事は職員と一緒に出来るよう援助を行っています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員、看護職員、介護支援専門員それぞれの立場で、出し合い介護計画を作成しています。又、モニタリングを行い、担当者会議にて状態の変化や現状に合った介護計画の変更を行っています。	介護計画は、入居時にアセスメントを行い、利用者、家族の希望を踏まえて、必要時には医師、看護師の意見を参考に担当者会議で話し合い作成している。通常は、3ヶ月ごとに当日勤務している職員でモニタリングを行い見直しをしている。気にかかる利用者については、毎月のカンファレンスで状態を把握し、ケアの内容を修正したり、変化が著しい場合は計画を見直し、現状に即した計画に変更している。介護計画のサービス内容に番号をつけ、計画に沿ったケアが実施された場合はケース記録の番号欄に印をつけて確認している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や利用者様の状態は記録に残し、状態に変化や気付いた事を担当者会議などで話し合い介護計画に反映しケアに活かしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	行政支援やボランティア、他事業所等活用し、その方やご家族様の状況に即した支援を行っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、自治会、老人会の行事に参加したり、施設での行事の際に、地域ボランティアの方にお手伝い頂き、皆様の生活が豊かに楽しみのある生活が送れるよう支援を行っています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医とご本人様、ご家族様、事業者が協議のうえ治療方針を決め、病気の治療や経過観察を行っています。また訪問医と専門医との連携を図り適切な医療が受けられるよう関係を構築しています。	事業所の協力医が月に2回訪問診療に来ている。入居前からのかかりつけ医や専門医への通院は、職員が同行することもあるが、原則家族が付き添っている。受診時には、看護師が医師宛てに利用者の健康状態を記した文書を作成し、家族からは受診結果の報告を受けている。家族、医師、事業所の三者で情報共有を図っている。看護師は職員として配置し、週2回健康管理に当たっている。希望者は、毎週歯科医の口腔ケアや治療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し、利用者様の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。看護師不在時には24時間オンコール体制をとり利用者様の状態について、適時報告し指示を受けています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院する際は、訪問医からの医療情報の提供や日頃の生活状況の提供を行って、また退院時に情報交換を行い、退院後の治療、療養が安心して行えるよう病院関係者との関係づくりを行っています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針を入居時に同意を頂き、重度化した場合において、訪問医、ご家族様、ご本人様、職員が改めて話し合いを持ちその方に合った終末期の迎え方を共有し、現在実施しています。</p>	<p>事業所として重度化や終末期に向けた方針を定め、入居時に説明し、利用者、家族と話し合いながら方針を共有している。昨年度の目標達成計画に挙げた「協力医、看護師、家族、職員間での話し合い」を進め、チームとしての支援体制を整えている。3名の職員が法人の看取り研修に参加している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有は図られていますが、職員の不安を軽減し、統一したターミナルケアができるよう、職員全員が参加する研修の実施を期待します。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応方法については、緊急対応マニュアルにて研修を行い職員への周知しているが、実践的な指導をホーム看護師により行っています。また救急救命講習にも参加しています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いのもと年二回、夜間想定避難訓練や災害を想定し総合消防訓練を利用者様、地域の方も参加して行っています。また日々火災予防の為、毎日点検を行っています。</p>	<p>防災、避難訓練は消防署の立ち会いのもと、併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で年2回行っている。運営推進会議の参加者や隣近所の住民も参加して、避難時の見守りを受け持ってもらっている。次回は、夜間想定で夜勤者による実地訓練を予定している。消火器の使用の確認は全職員に義務づけている。飲料水、食料、おむつ、使い捨てカイロなどを、職員の分も含め3日分程度備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩であるという認識を持って接しており、接遇について失礼の無いよう心がけ、その方らしさや個性を大切に話した話し方や話の内容を考え対応しています。	接遇やプライバシー保護の研修を行い、毎朝の申し送りに接遇の言葉を唱和し意識づけをしている。管理者は身だしなみを整えることも接遇の大切な要素であると指導している。言葉かけや語調が適切であったか、職員間での確認や話し合いをしている。職員は、節度を守りながら、親しみのある態度で利用者として接していた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活習慣や価値観を大切に、一人一人が自己のペースで生活を送り、やりたい事や出来る事を自己決定出来るよう支援しています。また自己決定が難しい方には、自己決定出来る様工夫して働きかけを心がけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各利用者様の生活ペースに合わせ、業務や作業を工夫し職員間で連携を図り行っています。各利用者様がしたい時、出来る時を見極め希望に沿った支援が行なえるよう務めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容の活用やその方の好みやスタイルを把握し、清潔に生活できるよう声掛けや利用者様と一緒に洋服選びや着替えが出来るようお手伝いしています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の能力に合わせお手伝いをして頂けるよう、下ごしらえや準備をし、利用者様と一緒に食事の支度や片付けを行っています。座っていても出来るお手伝い等工夫し支援しています。	献立付きの食材を業者に委託し、職員が調理している。利用者は下ごしらえや食器ふきなど、主に座ってできることを行っている。職員は、ミキサー食の利用者に、食材を一つ一つ丁寧に説明しながら口に運び、食の細かい利用者にはやんわりと声をかけて勧めていた。時々利用者からの希望が多い寿司などの外食に出かけたり、行事食や出前を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量は毎食確認し変動がある時は看護師、医師へ報告を行い指示を受け対応を行ったり、その方の好みや状態に合わせた食事の提供や習慣に合わせた支援を行っています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、各利用者様の能力に合わせて、声掛や介助を行い、義歯は夕食後、必ず洗浄剤につけ清潔に使用できるよう支援しています。希望によって歯科衛生士による口腔ケアを実施しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の排泄パターンを把握し、無理なく誘導を行い排泄がトイレで行えるよう心掛けています。また、トイレの動作に不安がある方はご自分で行なえるよう見守りや声掛を行っています。	排泄パターンを把握し、利用者それぞれのタイミングにあった誘導をしている。利用者の様子を察して声をかけることもある。「出来る限り自分でやりたい」という利用者の気持ちに配慮し、身体機能に応じた過不足のない支援をしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の献立や歩行運動や水分の提供に際し、各専門職のアドバイスを受け予防に努めています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴管理は職員が行っていますが、その方の希望や体調を優先し時間や日にちを調整し気持ちよく入浴して頂くよう心掛けています。声掛やタイミングを工夫し支援を行なっています。	入浴は週に2回程度で、午前は10時から、午後は14時からの時間帯となっている。入浴の順番は、利用者の希望や体調を考慮しながら、職員間で話し合い、利用者の了解をとっている。入浴をしたがらない利用者には、「一番風呂ですよ」「いい入浴剤がありますよ」などの声をかけ、気持ちが入浴に向くように支援している。足元の不安定な利用者は、併設の小規模多機能型居宅介護事業所の浴室に設置しているリフト浴を利用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、その方の能力に合わせた運動や作業で体を動かしたり、安眠して頂けるよう環境に配慮し、夜間の定期巡回時に、室温・湿度や睡眠状況などを把握し、支援を行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬方法、用法、副作用、用量については訪問医の指示や薬剤師の注意を守って行っています。また変更があった場合は、看護師が申し送りを行い、職員全体に周知を行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	様々な生活歴、性格や能力を活かし家事や調理等、その方が力を発揮し役割を持って生活を送って頂けるよう心掛け、感謝の気持ちをお伝えすることで、やりがいを持って頂けるよう努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩等、その日の希望に沿うよう職員が連携を取り支援しています。また、ご家族様と協力しながらお墓参りや食事、外泊が出来るよう支援し、自治会と協議し花見へ参加したりと、楽しんで頂けるよう努めています。	日常的な外出は、近隣のスーパーマーケットや公園へ買い物や散歩に行っている。車椅子の利用者は車を利用して戸外へ出かけている。年間行事として、初詣、お花見、ピクニックなどを計画して外出支援をしている。時には、外食や気の合った利用者同士でのお茶も楽しんでいる。家族との外食、旅行に出かける利用者もいる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は概ねホームが行なっていますが、その方の希望に沿い、買い物に付き添い、自由に買い物を楽しんで頂けるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りは、ご本人様のご希望やご家族様の意向に即して出来るよう支援しています。手紙の代筆をお手伝いし、ご友人と連絡を取られている方もおられます。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を大切にし、季節の草花などを飾りホットできる空間作りと南向きの窓から差し込む光で、明るい空間作り、室温・湿度管理にも配慮し心地よく過ごせるよう努めています。	テレビやソファが設置された居間・食堂は南向きで、大きな窓から自然の光が差し込み、明るい空間となっている。法人の特徴でもある生花や観葉植物を飾り、季節感を採り入れている。壁には、利用者が手芸のボランティアと作った折り紙の作品や外出時の写真などが貼られている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い利用者様同士で居室にて過ごして頂けるよう配慮したり、また利用者様の相性に配慮した席順を用意し、利用者様が気分よく快適に過ごせる空間を提供し、思い思いに過ごして頂けるよう努めています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅よりご本人様のなじみの品物や家具を持ち込んで頂き、その方の居心地のよい環境作りに配慮し、今までと変わらない生活が送れるよう、ご家族様に協力をお願いしています。	居室は、ベッド、エアコン、照明器具、カーテンが備え付けになっている。衣類や日用品の細々したものは大きなクローゼットに収納し、すっきりと片付いた安全な居室となっている。利用者は、好みの椅子を持ち込んだり、郷里のお祭りのポスターを飾ったりとその人らしい居室作りをしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、各居室など名前を表示し迷わないよう工夫し、出来ない事は職員が一緒に行くことで出来るだけ、自立した生活が送れるよう支援しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語 やまと (GH)

作成日 H 2 5 年 1 1 月 2 8 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	重度化や終末期に向けた方針の共有は出来ていますが、職員の不安を軽減し、統一したターミナルケアができるよう、職員が参加する研修実施を期待します。	ターミナルケアに向けご家族、ご本人、職員が不安なく統一したケアが行えるよう、その方の状態に合わせ研修や話し合いを行い、穏やかに終末期を過ごして頂けるよう体制を構築する。	ターミナルケアを迎えた方に合わせた研修を行う。予想される症状の対応や臨終時の対応を研修にて事前にシミュレーションし職員の不安を軽減し、職員の精神面でのサポートが行えるよう看護師等体制を整備する	3ヶ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。